（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスどれみくらぶ			
○保護者評価実施期間	令和7年10月1日	～	令和7年10月31日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	34名	（回答者数）	22名
○従業者評価実施期間	令和7年10月1日	～	令和7年10月31日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	5名	（回答者数）	5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月15日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	フロアが広く、身体を動かすことが好きな方にも、のびのび過ごして頂くことができています。また、机上での遊びや活動も行っています。	認知や感覚の偏りによるこだわり等、環境や個々の特性にも配慮し、自分に入ってくる情報を適切に収集、整理しやすくなるよう、視覚の支援等、活動内容の工夫を行っています。 机上活動ではじっとしていることが苦手な方にも、経験を重ねていくことで、将来に向け、集中する時間を持てるよう取り組んでいます。	職員間で対応を検討し、統一した関わりを行うことができるよう、気を付けています。利用者の特性に合わせた環境づくりや、支援の方法等、興味を持ってもらえる活動を提供していきます。
2	その日あった出来事や変化などを送迎時にご家族にお話することで、信頼関係の構築に繋げることができている。	送迎時の申し送り等を通して、学校、教職員とも連携し、どれみくらぶの職員間でも共有していきます。 どれみくらぶでの様子をお伝えすると共に、ご家庭での様子や困っていること等について、連絡帳、送迎の際のほか、必要時は面談の場を設け、ご家族（ごきょうだい）と情報を共有し、協力して支援を行っています。	今後も日ごろの様子等をお伝えし、信頼関係の構築を継続に努めていきます。
3	法人内の放課後等デイサービスと情報共有を行っている。	法人内の同部署(放デイ)と日々のコミュニケーションを撮っており、共通の課題や困りごとなど情報共有を行っています。	今後も定期的な会議や日々のコミュニケーションを行い、円滑に業務が行えるようにします。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	現在利用されている曜日以外の利用について。	どの曜日も定員となっているため、契約以外の曜日の利用が難しい。	卒業生があった場合に提案できることがある。
2	送迎時に介助者が同乗できないことがある。	開設当初は小学部低学年の利用者が多く、下校時間も限られていた。学年が上がるにつれ下校時間が多く、利用している方の学校も増えたため、同時間帯に3校へ別々に行かなければならず、どうしても介助者を同乗しての送迎を行うことができない。	シートやベルトなどいろいろな道具を工夫してり利用することで安全を確保しながら送迎を行っている。
3	父母会、保護者会等を行うことができていない。	今年度、ハロウィンの親子行事を行い、少し交流の時間を持っていただくことはできましたが、児童さんも参加していると、ご家族同士の交流は難しいと感じました。	またご家族の希望もお聞きしながら、機会を設けられるようにしていきたいと思います。